

# 金融検査マニュアル対応 システム監査

各金融機関にはシステムリスク管理態勢の整備・高度化が求められています。その具体的な例示として、金融庁では各種業界に向けた金融検査マニュアルを公表しています。

あずさ監査法人はそれぞれの金融検査マニュアルで実施が求められているシステムリスク管理に関し、システム監査を行っています。

金融検査の方針が大きく見直され、今後は単に金融検査マニュアルに準拠するだけでなく、個別企業の状況を勘案したそれぞれのベストプラクティスを目指すことが求められると予想されます。

あずさ監査法人が実施するシステム監査は、単に金融検査マニュアルに準拠して、その対応状況に可否をつけるものではなく、システムリスク管理態勢のさらなる高度化に寄与するため、各組織体の管理状況に応じた具体的な課題導出とその優先順位付けを行っている点に特長があり、新しい潮流にも十分適応できる内容となっています。

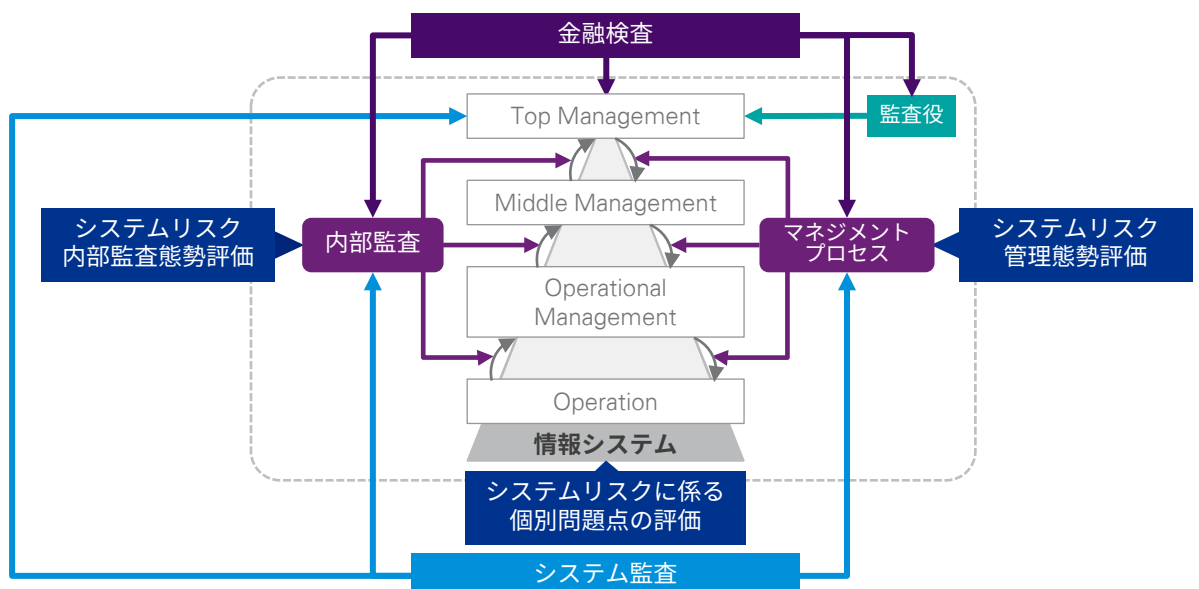


## サービス概要

あずさ監査法人は、主に以下のサービスを提供します。

- システムリスク管理のマネジメントプロセスを評価する「システムリスク管理態勢評価」
- システムリスク管理態勢において特に内部監査機能にフォーカスした「システム内部監査態勢評価」
- 情報システムの実態を踏まえた個別具体的な問題点を評価する「システムリスクに係る個別問題点の評価」

## ■金融検査・システム監査のスキーム



## システムリスク管理態勢評価

システムリスク管理に係るマネジメントプロセスを中心に評価します。リスク認識・評価から統制状況の把握方式、改善計画の保有状況まで、経営から実務に至る組織全体のリスクマネジメントプロセスの状況評価と、高度化に向けた改善ポイントを明確にします。特に、改善ポイント導出にあたり、各金融機関の状況に合わせた実現すべき課題を整理する点に特長があります。

### 事例

- 経営と業務執行部門間に、管理対象とするリスク事象の認識の違い等が存在している
- 管理対象とするリスク事象と、実際に統制対象としているリスク事象の齟齬が存在している
- 金融検査マニュアルに記載されている事項に対応しているものの、マネジメントプロセスとして機能していない

### 提案

- 経営層の役割と責任、業務の健全性および適切性の観点からのシステムリスクの把握
- 執行部門に対するシステムリスクへの取組方針見直し
- 必要とされる内部管理規程の整備
- 実現すべきシステムリスクマネジメントプロセス

## システム内部監査態勢評価

システム内部監査の計画立案、テーマ選定方式、実施状況、報告状況等の態勢全般を評価します。内部監査機能の充実が監督官庁も重要検査ポイントに挙げており、システムリスク管理態勢全般を高度化していくには、内部監査態勢の評価は必須であると考えられます。

### 事例

- システム内部監査が、統制機能の脆弱性評価のみになっており、リスクの側面からの評価が行われていない
- システム内部監査に対する経営資源の配分が行われておらず、ほとんどシステム内部監査が機能していない
- システム監査項目が本来検査すべき事項を網羅しておらず、結果的にリスクに対する監査が実現されていない

### 提案

- システムリスクの所在、種類、特性およびシステムリスク管理手法の理解
- リスクを中心としたシステム内部監査への高度化
- 経営層に対するシステム内部監査への経営資源分配支援
- システム監査項目の整備

有限責任 あずさ監査法人  
IT監査部

〒100-8172

東京都千代田区大手町1丁目9番7号

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

TEL : 03-3548-5315

FAX : 03-3548-5316

AZSA-ITAUDIT@jp.kpmg.com

www.kpmg.com/jp

## システムリスクに係る個別問題点の評価

情報システムの企画・開発・運用等の相互牽制体制状況や業務の運営状況、さらには個別のシステム単位に要求される統制機能の導入状況等について評価を行います。当該サービス領域は、評価対象範囲が非常に広がるため、各組織体の問題意識に基づき設定する場合と、あずさ監査法人が組織体の内部環境等を把握し、優先順位をつけて提案する場合があります。

### 個別問題点

- 情報セキュリティ管理
- システム企画・開発・運用管理等
- 防犯・防災・バックアップ・不正利用防止
- 外部委託先管理
- 付保預金の円滑な払戻のための整備状況等
- サイバーセキュリティ
- システム統合リスクに係るリスク管理態勢

### 提案

- セキュリティ管理者の役割・責任の明確化
- システム開発部門と運用部門の分離分担
- コンピュータシステムの脅威への対応
- 再委託先を含む外部委託先のリスク管理態勢構築
- 名寄せに係るデータベースおよびシステムの整備
- ペネトレーションテストを含むサイバーリスク対応
- システム統合に係るリスク管理態勢構築

## 期待される効果

システムリスクに関する第三者の客観的な評価を受けることにより、改善すべき課題が整理され、さらなるシステムリスク管理高度化の方向性が明確になります。

本リーフレットにおける「システム監査」とは、(公)金融情報システムセンターや経済産業省等が発行する一般的に公表・認知されている各種ガイドラインを評価基準とし実施される助言業務を指し、金融庁が金融検査マニュアルで使用している言葉（「外部監査」）であることを意味しています。一般的に監査法人が使う「外部監査」は、法的な根拠に基づいて、総合的な監査意見を表明することを目的としているため、その「外部監査」とは区別する意味合いを示しています。

本リーフレットで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはあずさ監査法人までお問い合わせください。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2016 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved. 16-1194

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.